

# コーティング仕様書

製品名称：GP4000 シリーズ コーティングモデル

製品型式：「1.適用」参照

受領印欄



## 目次

1. 適用..... エラー! ブックマークが定義されていません。
2. 概要..... エラー! ブックマークが定義されていません。
3. コーティング部位..... エラー! ブックマークが定義されていません。
4. コーティング方法..... エラー! ブックマークが定義されていません。

## 1. 適用

本仕様書は、弊社が製造販売するGP4000シリーズ・コーティング仕様品である下記機種について適用します。本仕様書は、コーティング仕様に関する仕様書ですので、製品の機能仕様、外觀仕様、環境仕様など本仕様書に記載なき仕様、保証条件など是对応する標準製品に順ずることとします。標準製品の仕様、保証条件等はカタログ等をご参照ください。対象機種はコーティングモデル型式についてをご参照ください。

### 『コーティングモデル型式について』

PFXGP4\*\*\*\*\*C

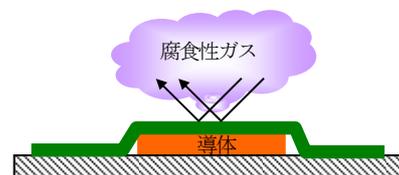
末尾

C: Coating Model を意味します。

## 2. 概要

周囲空気中に含まれる硫黄成分による基板上導体部の腐食を緩和するために、導体の表面にコーティング処理を施します。コーティング剤を塗布することで導体表面に皮膜を作り、外気との接触を遮断する効果があります。

但し、基板上には機能上或いは構造上、コーティングできない箇所が多数あります。また、基板以外の部位にはコーティング処理を施せないこともあり、腐食性ガスから完全に保護できるものではありません。従いまして、不具合となる要因を完全に除去できるものではなく、腐食の緩和による故障発生率の低減または故障発生までのライフサイクル延長が期待できるレベルとご理解ください。



### 3. コーティング部位

#### (1) コーティング部位

下記、「(2)コーティング対象基板」上の導電部のうち「(3)非コーティング部分」を除く部位

#### (2) コーティング対象基板

- ① コントロール基板（主基板・サブ基板）
- ② 電源基板
- ③ 液晶内部基板

#### (3) 非コーティング部分（コーティングしない部分）

- ① コネクタおよびその周辺部  
(コンタクトにコーティング剤が付着する恐れのある範囲)
- ② 端子・端子台および同止めネジ
- ③ その他電氣的接合部、接合部品およびその周辺部
- ④ 可動部およびその周辺部
- ⑤ グランドパッド、アースクランプ
- ⑥ ハーネス内部結線
- ⑦ タッチスクリーンデバイス、バックライト
- ⑧ 充電部以外の金属部
- ⑨ 附属品・オプション品
- ⑩ その他技術的に困難な箇所およびコーティング効果の見込めない箇所

### 4. コーティング方法

#### (1) コーティング方法

樹脂系コーティング剤を、コーティング部位に、筆または刷毛にて塗布する。

#### (2) コーティング剤

ポリオレフィン系またはアクリル系コーティング剤

(コーティング剤については予告なく変更することがあります)